

刊夕 日九十月一



定価 一部五銭... 発行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日新聞社

流行と教育

國田 芳夫

最初の某艦引上は非常に人氣を呼んで、大衆投資應募者が潮の様に押し寄せ、大分プレミアムが付いたとか。それから漸次調子が下つて墓堀には全く人氣が無かつた。

金問題では一方に某代議士が北海道で、何億とかの金山を手に入れたとか、某銀行屋さんの話で朝鮮は至る所二十尺も掘れば金が出るとか、やれ伊豆には大金山が発見された、やれ奥州にも源平時代以來の大金山が... 等と新聞紙は報道したが、今では殆んどどれも忘れられた。これも流行だつたのか。

流行の颶風が一過した後

は反動的に、廢れたものが一層顧みられぬ傾向がある。髪やズボンや麻雀等の盛衰は別として、岡田式、西式の健康法が眞に宣傳の半分でその効能があれば、假令岡田氏が死んだとて西氏が呉れる方がよい。

ノート

本の皮表は紙の汚れ、卵の白身を泡立て、水を少し加へネルの布に付けて静かに拭くと艶が出て来る

過つて其の筋の調べを受け必要はあるまい。前には熱心に宣傳までしたが、今では知らぬ顔をしてゐる人の氣が知れないと、いひ度くなる。沃度、カルシウムが流行當時の話の半分でも効くものなら、今でも尙宣傳

席題『雪』高月句會

(一)

大雪や野犬すばしく木戸を去る
草庵のひくき廂に雪重し
竹折れの雪に暮れゆく山家哉
伏家に去年も暮れゆく深雪哉
雪折々突になりぬ冬の町
碁客二人聲せぬ窓の雪しづれ
雪を見て騒ぐ子供を眺めけり
雪の朝雀捕ふる子やにくし
子を寝せて酒酌む夜や雪の聲
吹雪止んで月の動かぬ梢かな

紅 果 鐘 樓 曉 美 千 鳥 芝 草

の必要があらう。沈没船引上や軍資金探しがインチキならいざ知らず、眞面目のことならもつとつかり仕事をし、大衆もウント鞭撻すべきであらう。世の中を騒がした金山も眞物ならば新聞は時々消息を知らして呉れる方がよい。

流行に酔つて無暗に飛びつき、やがて弊履の如く之を捨て去るのは餘りに自信が無さ過ぎる。

かまぼこ製造 ねぼろ造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 一本孫寅 電話一四一番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではあまりせん 平町南町六五

川井内科診療所 電話一八一番

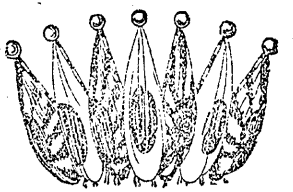
醫學士 川井重之 女醫 川井安子

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が

自由の讀める 川崎文庫 電話六三〇番

市原醫院 平町 田町 電話一四四番

天壤無窮 萬歲萬々歲 瑞光燦として輝く 皇太子殿下御誕生奉祝を二月の吉日を撰れ行はせらるこの 佳き日の御使用の提灯



祝 奉

皇太子殿下御誕生

軒提ケ

行列用

各種提灯は

スガノヤ提灯店へ 平四丁目 電九五

Advertisement for '玉屋洋品店' (Tamaya Yohjin-ten) featuring an illustration of a man in a suit and the store name in large characters.

Table listing medical departments and staff at '磐城共済病院' (Iwajima Kyosai Hospital).

磐城共済病院

電話一六四一番

鐵道線路に突入

平驛危機に頻す

小名濱より匪賊來襲!

陸軍大學の鐵道輸送戰

陸軍大學では来る三月廿四日平町、湯本町方面を中心とする鐵道輸送模擬戰を執行する事となり

此程湯本、綴驛その他を同校兵事教官歩兵中佐村治敏男氏參謀本部課長砲兵大佐渡邊右文氏の兩氏が調査中であるが参加人員は同校生六十餘名で各々平町、湯本町に分宿する豫定である

想の下に急遽後續部隊が駆けつけ機關銃を据えたモーターカー二臺假想が奮戰遂行する事となる

に匪賊を討滅し鐵道輸送上障害なきを得るに至るものである

愛谷水利の

議員選舉に

各方部競争激甚

愛谷堰普通水利組合の議員選舉は来る二十八日午前九時より平町役場會議室に於て執行されるが有権者は百二十六名にて定員七名に對し目下の處各候補者十餘名

正木校長出福 磐女 校長正木貞二郎氏は既報の如く全明の二日間安積高等女學校に於て開かれる縣下高等女學校校長會に出席の爲め今朝平發九時で出發した



巷のトピックス

栃木縣雀宮村福田源兵衛ドンは東京で失業して徒歩で歸郷の途中利根川へ

なア手間がまはいらぬサといふ首をしめてよ

呆れ返るほど圖々しいオ

あるボートを見つけたから元氣百倍したのである『よーしあのボートさへあるなら失業何のその、利根川下れば言はずと知れた太平洋よ……その海の彼方はアメリカな筈、わけアあるもんか、一ツ太平洋を横

してヤンキーどもの度胸を抜いでやれ!と餘りにも大きな望みを抱いて漕ぎ出したが漕げどもく太平洋にさへ出ぬ中大望空しくボート泥棒のかどで捕まつてしまつた、源兵衛ドンはまた失業に泣き暮してゐる

棒が今青森署司法室で殿しい取調べをうけてゐる

貯炭は皆無

二百萬圓の増収

軍需工業に煽られ

常磐炭礦益々好況

常磐地方の炭礦界はインフレ景氣と軍需工業の發展により送炭高は益々増加しストツク皆無となり大いに採炭能力をあげてゐる各會社の昨年度中の採炭量は總計百九十餘萬噸に上り前年度

に比して十六萬噸の増加を示し相場は前年度に比較して地炭一トーン一圓七十錢前後の高値を示し前年よりも總額二百萬圓の増収である

都市計劃の

基礎を調査

富安技師等來平

梅佐の兩氏は去る十七日來平各所を實地踏査し都市計劃の基本調査中であつたが本日は小名町に向け出發した

本縣都市計劃地方委員 會技師富安 鑒助氏及び 同技師橋本

危険を冒す

無謀な掃立ては

斷じてやるなと

蠶業取締支所が制限宣傳

米國の需要不振に加へて平價切下げの爲め爲替關係一變し今後の繭價に如何なる影響を來さんかはかり難い折柄郡内養蠶家は依然として多數掃立てより現金収入を増加せんとする模様なので平蠶業取締支所にては自

しむべく管内を指導中であると

町村長の

豫算

編成協議

石城町村長會では明日午前十時より平町役場會議室に於て本縣吉富地方課長臨席の下に總會を開き九年度の豫算編成に就いて種々協議すると

附課均等

赤井で協議

赤井村では去る十六日午後一時より第一小學校に於て九年度の豫算編成期を前に控え年々村税を附課が下に重くなる傾きがあるのに鑑み均等を圖るべく村税調査委員會を開いた

平町人事

△十五町目四 志賀勝美氏

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平町紺屋町
電話七〇五番

六十婆さんの

若い燕が財産横領

死後の遺産は一切空！

驚いて訴訟

郷土展に

酒井教諭出品

川部村大字山王蛭田フヨ(六)は連れ合ひもかゝり子もなく孤獨の身を昨年九月二十一日突然の脳出血で人事不省に陥つたのがもとで五、六日後にボツクリ死亡した處が同人には

り遺産の全部がフヨの若い燕であつた同村加茂友治長男(三)の所有に歸し昨年九月二十七日付ですつかり變更の手續が終へて居たのを發見良助は驚いて此程安齊辯護士を代理人として平支部登記無効の訴を提起すると共に親族會招集を申請した

死んだのを隠して

登記の手續を済す

刑事問題に波及か？

事實は死者の若い燕の父親前記友治がフヨの死亡を聞いて直ぐ隣家の蛭田馬治と相談しその翌日植田町登記出張所に至りフヨの死んだ事を隠して賣買登記を済ませマンマと財産を横領した後勿來町小林醫師の死亡診斷書を貰ひ死亡届を出したと原告側は主張して居り事件の進展如何に依つては刑事問題も起る模様である

無銭客が

逃走を企て

平署に捕る

東京市淺草區山谷四丁目古物商塚田太一(五)は昨夕午後九時頃平南町料理店鹽屋に登樓五圓餘の無銭飲食をして逃走を企てた所を密行中の平署員に逮捕され目下取調べ中

感冒稍下火

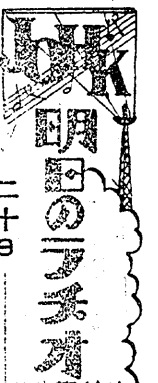
欠席兒童減る

警女教諭酒井英吉氏は来る二月一日より一週間東京白木屋樓上に於て開かれる全

平町各小學校では過般來感冒の爲め毎日四百五六十名の欠席兒童があるの之れが豫防の爲め毎日午前九時始業に改め朝禮及び朝會し豫習並に放課後の自習を廢しマスクや吸入等を奨勵して極力防疫に努めた効ひあつてか本日の欠席者は第一

四倉貧困救済

警察署人事相談所では愈々舊年末も迫つたので例年の如く貧困者の救護を行ふべく各受持巡査に調査を命じたが其報告を待つて役員を招集町役場と協力其趣旨の徹底を計ると



明日のラジオ
今夜も明日も北西の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 名作物語 解説 竹取物語 とは 榎葉 勇 「竹取物語」 細川 武子 後六、二五(ことばの講座) (第二講) 母音の話 神保 格

後七、三〇 講演 後八、〇〇 ラヂオレヴエ 「ラッキーエール」 門田 声 子外大勢 後八、五五 連続浪花節 「寛政力士傳(第三席) 越 の海勇藏 木村重友 後九、三〇 時報 ニュー ス 氣象通報 番組豫告

明日の部
前七、〇〇 基礎獨語講座 (六) 橋本忠夫 前九、一〇 料理献立「鮎のちり鍋」 小林忠雄發表 前一〇、三〇 家庭講義 山脇敏子 後一〇、五五 落語「將棋の股様」 談州樓燕枝 後二、〇〇 家庭講座「現代の家庭に對する希望」 佐々木秀一 後二、四〇 南米移民船オ デジャネイロ丸出帆實況 神戸港第四突堤より中繼 後三、三〇 大角力春場所

青沼氏母堂へ

兒童等の感激

贈られた雑巾の御禮に 羽織下を編む

平第二小學校自治會では舊臘十八日青沼平町長母堂みを子刀自が氣丈にも八十五歳の老ひの手に針を取り縫ひ上げた雑巾三百枚の寄贈を受けたので子供心にも深く感激し何か御禮をしませうと寄々相談の上此程兒童一同にて毛糸の羽織下を編み贈る事になり目下誠心こめて作製中である

裁判所だより

△双葉郡大野村大字大川原菅野傳は此程實母くらよ(三)を法定代理人とし同村石井傳二(七)を相手取り平支部に私生子認知の訴を提起したので本日午前十時より平支部に於て中島判事係り關口香西兩判事陪席各關係者列席の下に第一回辯論

平職業紹介所報告

△見守 十五才位 尋卒 仕着外年三十圓
△女中 四十迄 日十圓位 外委細面談
△行儀見習 二十一才 高卒 月六圓以上
△外交員 三十五才 尋卒 三割給
△出前持 二十才前後 尋卒

木村外科醫院

門專科病柳花外 院醫科外村木 際橋目丁五町平 〇九三話電

實況 國技館より中繼 後五、三五 受驗講座「漢文」 黒羽英男 後六、〇〇 子供時間「名作物語」 竹取物語 鬼頭昭 後六、三五 基礎佛語講座 (二) 目黒三郎 後七、三〇 時事解説「アメリカの平價切下げ問題に對して」 經濟學博士 牧野輝智 後八、〇〇 管絃樂(新交響樂團練習所より中繼) 日本放送交響樂團 後八、三〇 民話(大津繪節競演會) 齋藤融其他 後八、五〇 講談「出世の高松」 西尾麟慶

銘劍秘刃録

【禁無断轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第三百三十六回 徳川家に崇る村正

鼻の肩先へ一刀太
おさだは良人五左衛門の顔を睨と見てゐたが

さだ「日頃妾が御意見を申上げたのは斯ういふ事もあらうかと存じますからで、文武兩道にも勝れてお在の貴所様、必と世にお出なさる時節到來致すに相違ないと存じまして、冗の費のないうやうに心掛けてをりましたが、先頃から心の駒の狂ひ遊ばし、朝に晩にお屋敷をあげられ、御在の時も酒びたり、夫が爲に此の頃は御勝手先元も不自由勝ち據らなく賞家へ参つては再三用立て、貰ひました、如何に親の處でも、他人も交つてをります事ゆゑ、この度々は参り難ふございませうが、貴所が御出世遊ばすか遊ばさぬかといふ大切の場合なれば、今一度面を被つて参りませう、然し只今仰しやつた事は豈やお偽りではございませうまい」

五「何の偽りを云ふものか事實お頭よりお招きに預かつて其の相談、五左衛門が生涯を小普請入りで修まるか、出世をするか、二ツに一つの分れ道だ、行き難もあらうが、鼻殿にお頼

申し借用致して来て呉れ」
さだ「其れほどまでに仰になれば行つて参りませう」
五「イヤ天晴貞女と申するは其方の事だ、以來は決して不行跡は致さん、身を慎み、やがて、お役に附いた時は、勤めを勵み、お鼻



殿にも御安心をおさせ致さう」
さだ「さうなりましたれば定めて親達も喜ぶことございませう」
おさだも夫婦の情合、眞逆に偽りとは思はないから欣々として賞家へ出向いて

みた處だ」
さだ「オヤ左様でございませう」
五「どうであつたな、鼻殿は貸して下さつたか」
さだ「ハイ、父の申す通りに、娘の連合なれば我が子も同様、其の婿が命ゆゑ

行つた、後で五左衛門ニヤリと笑つて
五「首尾能く奥を欺してやつた、子に甘いは親の常、五十兩の金を貸して遣すは知れたこと、當分夫で面白可笑く日を暮せるといふものだ」
と我が居間へ入つて、ゴロリ横になり、おさだの歸りを待つてゐる、處へ立戻つた妻のおさだ

さだ「オヤお寝みでございませうか」
五「イヤ最前お頭と碁を打つたが、好い勝負で存外力を入れた爲肩が凝つた、夫ゆゑ横になつて休息をして一緒ににお出でになりました」
五「ナニ鼻殿が、それはそれは」
厄介とは思つたが、之も五十兩の仕事、一つ老爺を欺いて呉れやうと、客間へ來ると、鼻の中野源右衛門四角張つて座つてゐる

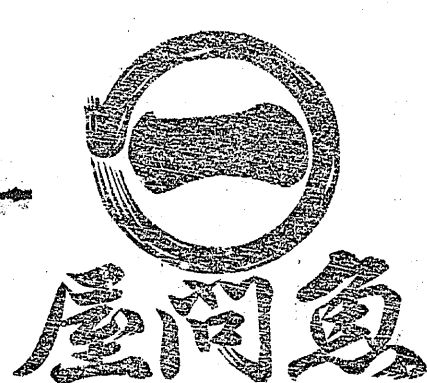
五「イヤ之は、御鼻殿態々お出掛けでは恐れ入りました、御用がござれば手前より参上致しましたものを」
源「イヤ年を老ると気が短くなる、待つてゐるより出て來た方が早いと思ひましてな……それはさうと、おさだが只今参つての話に何かお頭の推擧によつてお役が附くといふ事だつたがそれは事實でござるかな」
五「ハイ、それに相違ございません、就きましては種々入用の爲……」
源「イヤ宜しい、お貸し申

さうお貸し申さうが、念の爲に伺つて置きたいのはお頭と云ふのは何誰の事ですな」
五「手前のお頭は大久保左内殿でござる」
源「大久保左内は拙者の親友、始終往復をしてをる」
五「鼻様、それは承知致してをります、畢竟お鼻殿のお聲掛りもありました爲で……」
と五左衛門、一寸おベツカを云つた、源右衛門苦笑ひをして

源「婿殿、それなれば云ふが、實は此方大久保殿の内意を受けて、其方に切腹を勧めに参つたのだ」
五「エ、ツ」
源「其方が向島にて追刺を働かし一件露顯致したのだ家の爲を思へば切腹せよ、後はよい様に計つてやるサア速かに切腹さつしやい」
扱はと思つた五左衛門、モウ之までと覺悟をして、傍に置いた稀代の村正、抜く手も見せず源右衛門の肩先へサツト切附けた。

五「エ、ツ」
源「其方が向島にて追刺を働かし一件露顯致したのだ家の爲を思へば切腹せよ、後はよい様に計つてやるサア速かに切腹さつしやい」
扱はと思つた五左衛門、モウ之までと覺悟をして、傍に置いた稀代の村正、抜く手も見せず源右衛門の肩先へサツト切附けた。

ほしやなぎ
いかに
鱈魚の鹽から
鱈魚の子



最優最 日本大 生命平 代理店
志賀盛藥
平四丁目(電二三一)

外科

門專光 X
科線科
上田外科醫院
平町南町
電話二一九番

大倉屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷はの生命なり

全外 一般科

醫學博士 渡部義夫
小兒科 女 醫 渡部きい子
内科
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 渡部外科
磐城セメント會社特約店